



国際ロータリー 第2500地区 第3分区

## Asahikawa Morning Rotary Club

2021~22 年度 第 1325 回 例会報告

例会日:2022年6月9日(木)時間:18:30~20:30

例会場: 旭川アートホテル 通常例会

2500 地区ガバナー

ロータリーの素晴らしさを伝えましょう 漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

R I 会長:

シェカール・メータ(インド)

クラブ活動方針 『困難な今だからこそ』 クラブ会長: 井上雄樹・幹事 飯塚 達夫

## 会長挨拶

みなさん、おはようございます。

明日で、ロシアがウクライナに侵攻した2月24日から4ヶ月になります。我々日本人は、ウクライナと言 われてもあまり馴染みのなかった国だと思います。私も、昔トルコのイスタンブールに行った時に、食事をし ていたお店にウクライナ人の団体客が来ていて、女性がみんな美女ばかりだったのを覚えているくらいでし た。いつか行っていてみたいとは思っていたものの、現在のような状況になってしまいいつ行けるのかわから なくなってしまいました。そんなウクライナについて、少しでも知ろうと思い、最近読んだ本の内容をご紹介 したいと思います。黒川祐次著「物語ウクライナの歴史─ヨーロッパ最後の大国」という本です。黒川さんは 元駐ウクライナ大使で、この本は20年くらい前に書かれたものなので、プーチンの話などは出てきませんが、 ウクライナの歴史を知るにはわかりやすい内容です。新書なので手軽に読めると思いますので、皆さんも読ん でみてください。さて、ウクライナの起源は、約1000年前のキエフ・ルーシ公国という国になるそうです。 キエフというのは、今のウクライナの首都の名前と同じです。ルーシというのはロシアという国名の語源とも なっているそうです。もともと、このキエフ・ルーシ公国が先にあり、ロシアという国は、そこから派生した 国なのだそうです。キエフ・ルーシ公国は栄えたのですが、その後没落し、ロシアとポーランドの両大国に挟 まれて苦難の歴史を歩みます。 ウクライナの地は、 非常に豊な国なので周りから攻め込まれやすかったのだそ うです。ウクライナには独自の文化や歴史もあるのですが、なかなか独立した国になるということは永くでき ませんでした。ソ連の時代には、ソ連邦に組み込まれて、悲惨な大飢饉が起きたこともありました。スターリ ンの時代に、モスクワなどの大都市の食糧のためにウクライナの農民から強制的に作物を取り上げて、作った 農民自身が飢え死にしてしまうということがあったそうです。これはスターリンによる人為的な大飢饉とさ れていて、数百万人以上の死者が出たとも言われているそうです。この悲劇は、ソ連によって戦後まで隠蔽さ



れていました。また、第二次世界大戦では、ソ連とドイツの戦争でウクライナは戦場となりました。ソ連の圧政で苦しんでいたウクライナの人たちの中にはドイツの支配を歓迎した人もいたようですが、戦場になったことで多数の人が亡くなりました。また、ウクライナには、多くのユダヤ人が住んでいたそうで、ナチスドイツの犠牲になったユダヤ人もたくさんいたそうです。ウクライナにルーツを持つユダヤ人はアメリカやカナダに移住した人も多く、現在もウクライナ系のユダヤ人のアメリカ人やカナダ人がたくさんおり、これらの人たちが現在のウクライナを支援する力になっているのかもしれません。このようにウクライナは、非常に苦しめられた歴史を持っており、このことがロシアの侵攻に対抗する国民意識を支えているのかもしれません。日本も東アジアの歴史を学んで、周囲の国がどのようなことを考えているのかを知ることが必要ではないかと思います。

それでは、本日もよろしくお願いいたします。

#### 会務報告

#### 本日はございません。

# 次年度5大委員長活動方針

#### クラブ管理運営委員会

委員長 坂本 信一

クラブ管理運営委員会の役割は、例会運営委員会、親睦委員会の皆さんとしっかり協調しながら、クラブの効果的な管理運営に関する活動を実施することです。クラブの効率的な運営を通じて、会員の意欲を促すような、例会プログラムを立案していきます。まだまだ、コロナ禍で例会開催が不規則になる可能性が考えられますが、ゲストスピーチからの情報提供や地域の奉仕活動へ参加する機会を増やし感動体験をするなかで、会員維持をして行きたいと思います。また、クラブ会員のご家族や兄弟クラブとの交流、親睦の輪を再開して、新しい時代の楽しいロータリー活動を実践することを目標としてチームモーニングー丸となって親睦活動を充実させ繋がりを大切にしていきます。

楽しいクラブ活動を会員の皆さんに情報発信して頂き、会員獲得に繋げていきたいと思いますので皆さんの ご協力お願い致します。

そして、会員の皆さんと一緒に、楽しい創立30周年事業になるよう頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

## 例会運営委員会

委員長 高見 一典 委員 宮永 憲一

新型コロナウィルス感染症が世界的に蔓延してから2年半となりますが、未だに収束には至っていません。当クラブは早い段階からリモートによる例会開催を実施しており、市内感染者数が大幅増加した場合、過去にはリモート開催した経緯もあり、今後において再度大幅増加した場合、急遽リモート開催になることもご理解願います。

例会では明るく楽しく、参加しやすい例会を目指していきたいと考えています。出席率向上、四つのテスト唱和、ゲスト・委員会・会員スピーチ等を通じ、ロータリー知識の向上と理解を深め、有益な情報交換の場として、会員相互の親睦を図ることに最大限努めていきたいと思います。

#### 親睦活動委員会

委員長 石川千賀男 委 員 竹村 陽子 武田 昭宏 植西 晃典

#### Fellow ship

親睦と奉仕は、ロータリークラブの根幹をなすものであると確信しています。そして親睦が失われればロータリーは崩壊します。

親睦とは、親しく睦合うと書きますが、基本的にはコミュニケーション、会員同士が楽しく、語り合い、気持ちを合わせて、行動に移すことに尽きると思います。職業上の発想の転換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、そして友情を深め、自己改善を図り、その結果として、奉仕の心が育ちます。これがロータリーの理想です。

今年度は、今までになかった新しい時代の変化に対応した 懇親を深める会を検討し、計画してまいります。

- 1、 クラブの会員全員が参加したくなる親睦会を計画する。
- 2、 同好会、研究会などの在り方を研究し、検討する。
- 3、 女性会員や若手会員が、自ら計画する親睦会を研究する。
- 4、 モーニングらしい爽やかな新しい親睦の在り方を 検討する。



## 会員組織委員会

朝倉直博

今年度の会員組織委員会としては、クラブ創立30周年という大きな記念行事を控える中、木村会員増強委員長と共に、周年に向けさらなる会員増強を目指します。また、いまだロータリーを知らない若い職業人に対しても自信を持って入会を勧められるようにいたします。勧誘するためにはロータリーアンである私たちがよりロータリーの知識を深め、理解することが大事です。そのために河崎会員研修委員長と共に、その知識と役割について学ぶ機会を作ります。またそれが、退会防止にも繋がっていくことと思っております。

両委員長と連携し、全会員が有意義なクラブ活動ができ、新入会員にとっても「入会してよかった」と思えるクラブになるよう努力してまいります。

#### 会員増強委員会

木村和哉委 員長 飯塚達夫 委員

ジョーンズ RI 会長は、ロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョンを優先し、女性会員や 40 歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります。」また、「異なるユニークなクラブ、特に新しいクラブモデルを受け入れることはロータリーの成長に不可欠です。」と述べられました。毎年、新しい考え方に我々も会員増強等にチャレンジしていかなければいけないと感じております。現会員も含めて更に良い環境、雰囲気づくりにもクラブ全体で取り組みたいと思います。

#### 会員研修委員会

会員研修委員会委員長 河﨑 髙麗男 委 員 石川 千賀男

クラブ研修リーダーは、すべての研修ニーズが満たされるよう クラブ理事会及び各種委員会と協力し、また、支援とアイデアを得るために、地区研修委員会、クラブを担当するガバナー補佐、地区ガバナーと協力しなければならないとロータリー章典(8.050.1)に記載されています。



クラブ研修プログラムの目的は、

- 1. 今年度は特に入会5年以内の会員のオリエンテーションを実施、クラブのニーズにあった研修内容を検討し実施、今後のリーダーシップの育成にRLIへの参加を促す。
- 2. 現会員のために継続的教育の機会を提供する。
- 3. 地区研修会や地区大会、I Mなどの出席 は会員の義務と成って居ます。全会員が指導 力育成プログラムを受ける事が出来るように 推進する
- 4.例会余裕時間を活用してロータリーの情報発信を行う。

コロナ禍に対応した研修を通してロータリー を知り、会員維持につながるよう務めますの で、皆様のご協力をお願いいたします。

### 広報IT委員会

委員長 谷地元 憲次 委 員 宮永 憲一 朝倉 直博

広報 I T委員会では、モーニングロータリークラブの根幹とする奉仕精神による様々な活動を世の中の皆さんに広報し、興味と理解、そして好評価を得られることを目標とします。

近年、新型コロナ感染まん延により、奉仕活動や例会などの自 粛で不遇な状況下にありましたが、本年度は状況が好転するこ とを期待して活動に努力します。

また、当委員会は SDGs を基に前年度同様、積極的にITを活用して環境保護と省力化を図るため会報誌はMRCホームページに透かさずアップロードし、皆さんが楽しく御覧できるようメンバー一丸となって努力しますので御協力宜しくお願い致します。



## 奉仕プロジェクト委員会

委員長 武田昭宏



委 員 河崎高麗男

委 員 木村和哉

社会奉仕委員会

委 員 飯塚達夫

国際奉仕委員会

委 員 竹澤元男

青少年奉仕委員会

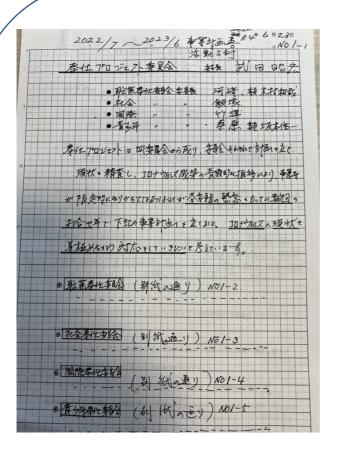
委 員 桑原義彦

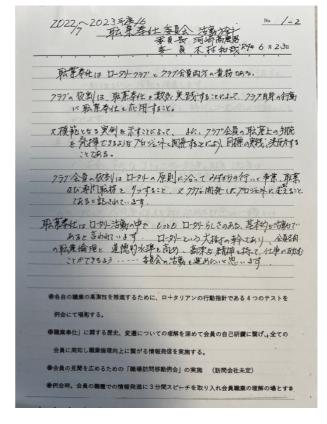
委 員 坂本信一

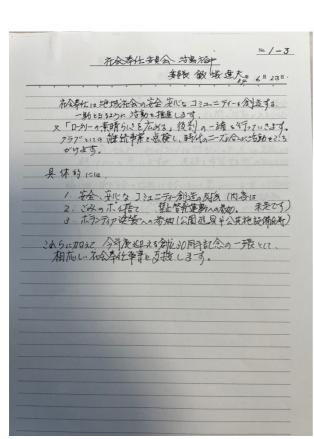
ROTARY CLUB

FRANCISCO DE LA CONTRACTION DEL CONTRACTION DE LA CON

※以下写真にて報告

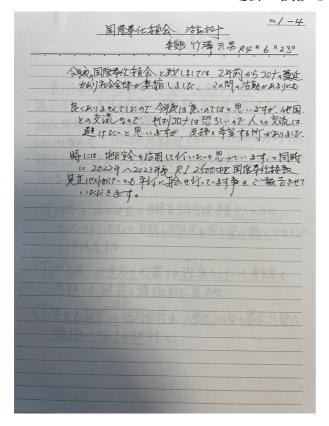






大学を大きり、 1915年 19

#### 退会の挨拶をする小柳会員





\* 旭川モーニングRC 出席報告 \*

\*本日の出席 第1325 回 例会 総員 22名

6 月 23日分 出席 19名

出席率 83.36%

\*修正出席率 第 1321 回 例会 総員 22 名

5 月 21日分 出席 13名

出席率 59.09%

\*ゲスト ございません

\*ビジター ございません

\*メークアップ 6/4~8河崎高麗男

(国際大会・オンライン参加)

6/18全会員22名

(旭川東RC50周年式典)

6/23 分 ニコニコ 0円